

2007 賀
 2007 賀

A HAPPY NEW YEAR Eazy!

年が明ければ...

静かな鎌倉の夜に、除夜の音が響き渡り、また新年がやってきました。除夜の鐘を聞き、人によっては寒い夜中にご苦労なことにお寺まで出掛けて行って、鐘撞きもして、ついでに初詣もすませて、この日ばかりはと、手前勝手なお願い事をして、なんだかせいせいとした気分で新年を迎えた気がするのです、大抵の日本人は、無論私もその一人ですが・・・ お決まり通りの新年を迎えると、つい昨日までいんげつな出来事がみんなちゃらになつて、すっかり出直せるようなお気楽な気分になるものです。いや、日本人はそういうものです、まったく。ですから、借金取りはちゃらにされちゃ困るとばかりに、年の瀬は血眼になって、走り回るので。年さえ明ければこっちのもの・・・なんて、昨今はそうもいきませんけどね。取り合えずはそんな辛い目にあっている時でさえ、年さえ明ければほっとしてなんだか、これからは何もかもうまく行くぞって気になるものです。そうです。本当です。私達も覚えがあります。うす暗いミルクホールの中で、どうやって年を越そうかと、皆で一年かけてもあまり貯まらなかった招き猫の貯金箱の中身を何度も数え直していたことがありましたっけ。大丈夫、なんとかありますって。私達だってこうしてまた、無事に新年を迎えることが出来たんですから。結構、毛だらけ、頑張りましょう！ どうにかなるって！



二八蕎麦 三代歌川豊国
 世上に二八そばとて、価十六文の事と解するは誤りにて、二八は蕎麦八分麦粉二分を以てて調和し、多く麦を雑へざると表せしなり。

COLUMN

鎌倉の猫事情 第六十三話



暖冬とはいえ、冬の寒さは猫にはこたえるようです。明け方の冷え込む時間になると、グーニーは温まった私の布団に潜り込み気持ちよさそうに眠ります。やっと起き出すのはすっかり太陽が昇りきった頃で、まあ、大抵はよだれの痕が点々と残っているのです。それを見てるとあの3年前の出来事が、本当に不思議な気がするのです。入院、手術という初めての大きな体験をしたグーニー君、2日ぶりに家に帰ってきました。まだなんとなく顔色(猫にも顔色はあるんです)がさえない様子ではありますが、とりあえずほっとした様子で、真っ先に自分の餌場へ行き、水を飲み、餌を食べたりしました。6年前、始めてうちに来た時からの餌場です。トイレも同じところにあります。この世でグーニー君が所有する唯一の財産です。大切な場所なのです。思えばグーニーとスィーピー二人のこの場所を守らんとて、外の猫達とあんなに無謀な喧嘩を繰り返してきたのかもしれない。その大切な場所で、傷ついた身体でほっとしたように水を飲むグーニーが哀れでした。獣医さんは、「手術はうまくいきましたから、大丈夫ですよ」と言って下さいましたが、「あの、歯を抜いたって、どこの歯ですか？」と聞くと「全部です。奥の歯は」「ぜ、全部？ じゃ、もう喧嘩は？」「しても勝てないでしょうね、たぶん」思わず私は、「なんで、そんなひどい事を・・・」という言葉が出掛かりましたが、飲み込みました。この優しい先生がそんな事をするのは、それしか方法がなかったのだらうと思うしかなかったのです。でも、あのグーニーが、外へ行っても喧嘩が出来ず、悔しい思いをしてすごすごと引き下がる姿を想像すると可哀そうでなりません。ところがそんな感傷に浸っている場合ではなかったことに、すぐに気付くことになりました。退院してからのグーニーは、少し元気がなかったもののしばらくは平穏な日々を過ごしていました。が、1ヶ月も経たないうちに、またあの恐ろしい発作を起こしたのです。食事をしたわけでもない、ただ座っていただけなのに、急にギョアアアとすごい声を上げてものがき苦しめたのです。それはもう転がって痛がるのです。私は青くなって、またグーニーを抱えて、獣医さんのところに駆け込みました。先生はすぐに注射を打ち、診断して下さいましたが、「手術の痕が全く回復していません。口の奥は真っ赤です。痛いわけだ。可哀そうに・・・」「あの、どうしたら・・・」「今日の注射でしばらくは、大丈夫でしょうけど、また同じことが起こります。そうしたら、また来てください」「あのお・・・」「肝臓も弱ってますよ、お大事に」 お大事にって、どうしたら・・・グーニーはまたも、傷ついた獣の顔をして診察台にうずくまっています。_____to be continued



KAMAKURA now ささめやゆき 鎌倉四十八景

鎌倉在住の版画家であり、挿絵画家としても活躍中のささめやゆき氏が長年かけて、自ら鎌倉を散策して描いた、鎌倉の四季の絵葉書セットを発売しました。まだまだ知らない鎌倉を見つけて下さい。



第一シリーズは、春・夏・秋・冬の4セット。秋のシリーズにはミルクホールも紹介されています。

春夏秋冬 1セット 4枚入り 450円

ミルクホールオリジナルグッズのお知らせです。

ささめやゆき氏イラストのミルクホールのオリジナルグッズのうち、グラスが製造できなくなりました。今現在の在庫は残り少なくなっています。お求めのお客様はお早めに。

▶ **新発売 グーニーマグカップ発売!**

ミルクホールオリジナルグッズに鎌倉の猫事情でお馴染みのグーニー君のミルクマグとパン皿が仲間入りしました。

LIVE

毎月第三土曜日の夜は
ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

1/20 Sat. pm 7:30

by HALF MOON

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

琢磨 仁 (Jin Takuma)

<http://www.e-half-moon.com/>

琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

Information

ミルクホールタイムス定期購読者募集!

ミルクホールタイムスご愛読頂くお客様へ

ミルクホールタイムスは発刊以来ほぼ月刊の形をとってきましたが、編集者の都合により、お断りもなく休刊する月もあり、苦情を頂くこともしばしばあり、なかなか改善できず、ご迷惑、ご心配をお掛け致しておりました。その為、思い切って本年より、毎月25日の定期刊行することに致しました。つきましては、定期購読して下さるお客様を募集させていただきます。

定期購読の申し込みについては、当社経費の為年間1500円を、お納め頂くようお願いしたいと思います。定期購読お申し込みの方へは、毎月25日発行日に発送致します。準備の都合により定期購読は、4月号、3月25日の発行よりとなります。また今現在ご郵送しておりますお客様へは、3月号までこのままご郵送続けさせていただきます。

メール、FAX、お葉書などでの申し込みをお待ちしております。

ミルクホールタイムス 総集編
「鎌倉ミルクホールタイムス」 1部1800円
No.001 ~ No.100



ミルクホールタイムス編集部
〒248-0006 鎌倉市小町2-3-8
PHONE 0467-22-1179
FAX 0467-24-9537
e-meil/ info @ milkhall.co.jp

HISTORY

KAMAKURA 場所の記憶 No.10 ミルクホール その2 「いそみ旅館」の隆盛

私が鎌倉ミルクホールに来たのは、20年程前のことです。たった20年の間に鎌倉の町並みも随分様変わりしました。当時は80年代のバブル時代、古都鎌倉の地代は天文学的な数字と思われるほど跳ね上がり、その為もあったのか、又各家の代替わりの事情もあって当時まだ駅周辺に多く見られた鎌倉らしい古い洋館は殆ど姿を消す事になったのです。その当時の洋館の様子は、映画ツィゴイネルワイゼン等に残されています。私がミルクホールすなわち磯見家で目にしたのは一人の老人の肖像画でした。聞くところによると、それはこの家の先々代、マスターの祖父の肖像画であるという事でした。マスターの父である先代が晩年その姿を偲んで、写真を頼りに描いたものだそうです。それはいかにもくつろいだ明治の老人の温かな姿でした。その人は、磯見喜代松といい、鎌倉の駅前、現在の三菱東京UFJ銀行の所で、大きな旅館を商っていたという話でした。その後親戚の人や、当時を知るお年寄りから耳にする話は、おとぎ話のようでただただ驚くばかりでした。その大きな旅館は大変な隆盛を誇り、優雅な別館もあり、乗用車が珍しかった当時タクシー会社も経営していたそうです。「いそみタクシー」は、現在京急タクシーとなっています。十数年前の自家の葬式では、沢山の親戚が集まり当時の話で持ちきりとなりました。「あの旅館の階段の下でよく遊んだわ。あの階段は1間(180cm)もあって、子供達のかくれんぼにはうってつけだったのよね」などと当時を懐かしむように話し合っていました。その旅館には、沢山のお引きずり(芸者さん)もいたようでした。その旅館は戦後、時代の波に呑まれたせいなのでしょうが、すっかり跡形もなくなってしまったようです。最後に長谷寺のお墓に参った親戚達は、「この大きな自然石のお墓、これがいけないんだわ。縁起が悪いのよね。だから・・・」と深いため息をついていたのでした。それから長い間、私はこの鎌倉の一つの物語を伝え聞いて行く事になったのです。 次号へ続く



2007 賀
ご

Milk Hall Now

和の小もの

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

半衿・帯揚げ

着物はコーディネートで楽しみたい
もの。昔の着物をほどこいて、鹿の子絞
りや、ちり緬、銘仙など、
昔の生地で半襟・帯揚げに仕立て直し
ました。安価で素材も豊富です。

半襟 ¥800より
帯揚げ ¥800より

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

かんざし

★ミルクホール製花のかんざし
大正・昭和初期の着物の生地で
可愛い花のかんざしを作りました。
花のかんざし ¥2500より

★ミルクホール製木のかんざし
木の棒1本だけで、髪をくるくる
まとめてアップにできます。
髪の長さや質に合わせて、木の
棒の長さをお選び下さい。

木のかんざし ¥1800より

★ミルクホール製くるみボタン
昔の着物をほどこいて、小さな
くるみボタンを作りました。
くるみボタンの髪飾りもあります。

くるみボタン ¥100より
くるみボタンのコーム
¥1200より

帯・つくり帯

着物は、つついおっくうになっ
てしまいます。せめて帯は簡単に
結びたいものです。つくり帯を持っ
ていると着物が身近になってきます。
初心者の方はもちろん、着物に慣
れた方にも、お気に入りのつくり帯
をお持ちになることをお勧めします。
またお買い上げの帯もつくり帯に
お仕立て致します。

半幅帯蝶結び ¥2000より
名古屋帯おたいこ ¥4800より

古布

★明治藍染布団皮
★端布色々 新入荷
楽しい端布が沢山入りました。
大きさ色々使い方色々、絞りや、
緬、銘仙、モスリンなど。昔の
着物を解いて作っています。

★着物・アンティーク古着

★★木綿着物 新入荷

素朴な味わいのある藍染めの木綿の着物多数、入荷しました。
ある時は小粋に洒落て、ある時は仕事着感覚で。
木綿の単衣の着物は、ざぶざぶ洗って使えるのが魅力です。
試してみてください。

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙や
お召しの着物も入荷しています。

人気の大島紬	久留米緋	¥7800より
¥9800より	銘仙着物	¥6500より
他、小紋やちり緬など	お召し	¥6800より



ANTIQUE

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

古陶磁

- ★★砥部焼再入荷！
鯨の染付、昭和20年代四国
の砥部焼が好評につき 入荷。
なます皿、猪口、小皿など
- ★★古伊万里碗入荷
- ★★大正色絵各種
- ★★幕末染付大皿
- ★伊万里7寸皿各種
そば猪口各種
- ★明治九谷絵皿・猪口
- ★大正時代火鉢
- ★初期伊万里陶片
- ★縄文土器欠片

和洋家具

- ★★大正時代水屋箆笥二段
- ★★明治時代帳場箆笥二段
- ★昭和初期鏡台
- ★箱各種新入荷 ¥4500より
- ★格子建具・蔵戸
- ★★昭和初期飾り本箱
- ★★大正ガラスケース
- ★明治時代文机

アンティーク

- ★レプリカシェード ¥5800より
- ★明治・大正のレースガラス・ガラス鉢
- ★★アメリカ製カーミット
電話機(使用可) ¥18000
- ★★昭和初期レトロポスター・映画写真など

